

令和 6 年度
港区内部統制評価報告書審査意見書

令和 7 年 8 月

港 区 監 査 委 員

7 港 監 第 5 0 9 号
令和 7 年 8 月 2 5 日

港 区 長 清 家 愛 様

港区監査委員 徳 重 寛 之

同 有 賀 謙 二

同 二 島 豊 司

同 砂 川 佳 子

令和 6 年度港区内部統制評価報告書審査意見について

地方自治法（昭和 2 2 年法律第 6 7 号）第 1 5 0 条第 5 項の規定に基づき、令和 6 年度港区内部統制評価報告書を審査した結果、別紙のとおり意見を付する。

令和6年度港区内部統制評価報告書審査意見

第1 審査の対象

「令和6年度港区内部統制評価報告書」(以下「報告書」という。)

第2 審査の着眼点

監査委員による報告書の審査は、港区長が作成した報告書について、港区長による評価が評価手続に沿って適切に実施されたか、内部統制の不備について重大な不備に当たるかどうかの判断が適切に行われているかの観点から検討を行い審査した。

第3 審査の実施内容

報告書について、港区長から報告を受け、「地方公共団体における内部統制制度の導入・実施ガイドライン」(平成31年3月総務省)の「V 監査委員による内部統制評価報告書の審査」に基づき、関係部局に説明を求めた上で、審査を行った。

第4 審査の結果

報告書について、上記のとおり審査したところ、評価手続及び評価結果に係る記載は相当である。

第5 その他意見

過去に生じた不正や他の団体の不適正事例について検討するという評価項目を新たに盛り込んだこと及び内部統制の重大な不備の判断基準として、報道発表の有無、損失等の回復の可否等の具体的な判断の目安を盛り込んだことは評価する。

一方、各課の取組の自己評価では、不適正事務が発生し「不備あり」と評価した件数は38件であり、昨年度と比較して1件増加している。重大な不備は見当たらなかったが、庁内の複数の部署で、類似の不適正事務が繰り返し発生している。財務に関する事務では、保育料の算定の誤りや課税処理の誤り等の不適正な収入管理が、個人情報取り扱いに関する事務では、通知文の誤発送や書類の紛失が見受けられた。

こうした事例が繰り返し発生すると、区民の区政に対する信頼を著しく損なうおそれがある。内部統制推進部局は不適正事務及び再発防止策を庁内で共有し、原因分析とチェック機能を強化することで制度の効果的な運用を図り、不適正事務の再発防止に努められたい。